

資料3

(3) 地方創生加速化交付金により今年度実施する事業について

1 目的

交流人口・滞在人口の増加を図り、町内での消費喚起やにぎわいづくりを促すことにより、新たなしごとの創出を図る。また、町民と来訪者とのふれあい・交流を促すことにより、町への愛着を醸成し、定住化を促進する。

2 事業の概要

① 交流拠点における環境充実事業

ア Wi-Fi 環境の整備

航空館 b o o n、社会教育センター、タウンバスの車内と主要なバス停に、無線通信環境（Wi-Fi 設備）を整備する。

イ バスロケーションシステムの整備

とよやまタウンバスの運行位置情報提供システムを整備して、スマートフォン等によりタウンバスの位置情報を入手できるようにして利便性を向上させる。

② 産業観光推進事業

ア フィールドミュージアム構想策定等

MR J 最終組立工場、愛知県による航空展示施設（あいち航空ミュージアム（仮））、航空館 b o o n 等この地域一帯を航空のフィールドミュージアムとする構想を策定する。また、地域主体の持続可能な取組とするため、地域おこし組織の育成・構築を図る。

イ 情報発信機能（アプリ）の充実

観光客誘致や周遊の促進を図るために各種観光に関する機能を搭載したアプリケーションを開発する。また、町民や観光客に対する多様な防災情報の伝達手段を確保するため、防災に関する機能もあわせて搭載する。

3 予算額

合計 41,000,000 円

4 進捗状況

① 交流拠点における環境充実事業

ア Wi-Fi 環境の整備

契約済

契約業者 スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社

資料3

契約金額 10,658,520円（うち消費税789,520円）
イ 情報発信機能（アプリ）の充実
仕様作成段階

② 産業観光推進事業

ア フィールドミュージアム構想策定等

契約済

契約業者 ランドブレイン株式会社

契約金額 11,016,000円（うち消費税816,000円）
イ 情報発信機能（アプリ）の充実
仕様作成段階

産業観光推進事業

作業計画書

平成28年6月21日

ランドブレイン株式会社 名古屋事務所

1. 目的

豊山町は、愛知県で最も面積の小さな自治体であるものの、小さな町域の中に、県営名古屋空港を中心として、国産初の小型ジェット旅客機MR Jの製造拠点や宇宙航空研究開発機構 JAXAの研究拠点が立地するなど航空関連事業者が集積している。

また、住民同士、住民と行政がお互いに顔の見える関係をつくりやすく、地域の密接なつながりも育まれている。

こうした“小さい町”の特徴や利点を活かしながら、豊山町ならではの魅力、特徴にさらなる磨きをかけ、小さいからこそキラリと光ができる『小さくてキラリと輝くまち』を目指してまちづくりを進めている。

本事業では、『小さくてキラリと輝くまち』の実現に向けて、他にはない豊山町の特徴であり強みである空港及び航空関連産業などを活かした地域活性化事業の展開に向けた「航空フィールドミュージアム構想」を策定する。また、本構想を実践していく上で主要な担い手となり得る地域おこし組織の育成・構築に取り組む。

町への多様な来訪者を招き入れることで、交流人口・滞在人口の拡大を図り、町内での消費喚起やにぎわいづくりを促し、地域での新たなしぐとの創出を図る。また、住民・事業者と来訪者とのふれあい・交流を促すことで、町民の町への愛着を醸成し定住化を促進することを目的とする。

2. 業務内容

1 航空フィールドミュージアム構想策定

①町における観光実態調査及び戦略の策定

ア DMO法人と連携した観光マーケティング調査

- ・ DMO法人の監修による観光マーケティング調査を実施する。
- ・ 調査内容については、ネット調査及び現地調査を行うものとし、詳細についてはウ及エの核となる観光資源・誘客ターゲット像の設定、観光誘客の戦略・シナリオ立案後に、誘客ターゲット・誘客戦略に対応したマーケティング調査を実施する。

イ 教育旅行等を見据えたニーズ調査

- ・ 教育旅行を扱う旅行業者数社に対しふヒアリング等によりニーズ把握を行う。

ウ 核となる観光資源・誘客ターゲット像の設定

- ・豊山町の観光の現状・課題を整理し、課題を解決する目標・方針の設定を行う。
- ・豊山観光の目標達成に向け、核となる観光資源を整理するとともに、誘客ターゲット像を設定する。
- ・目標設定にあたっては、交流人口の増加だけでなく経済効果の増加も目指したものとする。

エ 観光誘客の戦略・シナリオ立案

- ・ウで設定した目標・方針の実現に向けた、観光誘客の戦略となるシナリオを立案する。
- ・また、戦略に沿って必要となる施策について整理する。

②航空フィールドミュージアムのパンフレット制作

- ・既存で発行されている豊山みどろガイドやグルメMAPとよやまの内容を踏まえ、誘客ターゲットのニーズに沿ったパンフレットを制作する。

2 地域おこし組織の育成・構築

① 地域おこし組織の育成・構築

ア 法人設立に向けたプロセス設計

- ・地域おこし組織として期待されるまちづくりサポーターが、NPO法人となるプロセスについて設計・支援を行う。
- ・また、自立運営に向けた中長期的な展開を検討・整理する。

イ 住民や事業者と町とのファシリテーション

- ・地域おこし組織が自立した組織となるよう、住民、事業者、町が連携しながらまちづくり活動に取り組めるためのサポートを行う。

ウ DMO法人と連携した地域おこし組織の育成・構築

- ・DMO法人の監修により、組織体制の構築に向けた支援を行う。

②観光まちづくり研修会の実施

- ・観光まちづくり人材の育成に向け、まちづくりサポーターを対象とした観光まちづくりの研修会を開催する。
- ・地域おこしの取組みの講師については、DMOを運営する法人や先進的な観光まちづくりを行う団体代表者等が行う。

③モデル事業の実施

ア 体験プログラム造成

- ・まちづくりサポーターと連携し、自らが実施する着地型観光に寄与する体験プログラムの造成を行う。

イ 着地型観光体験プログラムモデル事業の実施支援

- ・実証実験として、アで作成した体験プログラムの実施支援を行う。
- ・実施にあたっては、まちづくりサポーターが関わる事業として実施する。

ウ 着地型観光商品の造成

- ・実施が望まれる着地型観光商品候補を整理する。
- ・まちづくりサポーターの実施希望を踏まえ、着地型観光商品候補より先導的着地型観光商品を選定し、商品設計を行う。

④観光まちづくりポータルサイトの構築・運営

- ・発信力があり誘客・町内消費につなげる観光まちづくりのポータルサイトを構築する。
- ・継続的な運営の観点から、まちづくりサポーター又は町のポータルサイトをベースとし、情報発信の内容やデザインの検討を行い、サイト構築を行う。

3. スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 指定フィールドミュージアム構想策定										
①町における観光実態調査及び課題の策定										
ア DMO法人と連携した観光マーケティング調査										
イ 教育旅行等を見堀えに二つ指針										
ウ などなる観光資源・課題 ワークショップの開催										
エ 観光誘客の戦略・シナリオ立案										
②指定フィールドミュージアムのフレッシュ制作										
2 地域おこし組織の育成・構築										
①地域おこし組織の育成・構築										
ア 住人設立に向けたプロセス設計										
イ 住民や事業者とのファシリテーション										
ウ DMO法人と連携した地域おこし組織の醸成・構築										
③観光まちづくり研修会の実施										
ア 体験プログラム造成										
イ 県地型觀光休験プログラム										
ウ 元子ル豪華の施設支援										
④観光まちづくりポータルサイトの構築・運営										
会議 県等との調整会議						①		②		③

4. 成果品

納品すべき成果品は、下記のとおり。

(1) パンフレット

A4版 8ページ程度 一部カラー 印刷製本 5,000部